

みやぎハイスクール通信 R8.9月号

＜アメリカ短期留学生受入 & 英語科発表会＞

7月6日から1週間、アメリカのバレンシア高校から日本語を学ぶ留学生7名を迎え、本校英語科の生徒がバディ(相棒)となって交流を行いました。留学生は授業や学校生活を共に体験し、週末の文化祭にも参加しました。

英語の授業では、本校生徒と留学生がチームを組み、「きまづい」「びみょう」など日本語特有の表現を分かりやすく伝えるショートムービーを制作しました。鑑賞会では、笑いや驚きの声上がる工夫あふれる作品が数多く発表され、会場は大いに盛り上がりました。



文化祭では、英語クラブと留学生が協力して英語による

「日米ディズニーランドクイズ」を企画・運営しました。また、留学生が審査員を務める「英語漫才コンテスト」も開催され、校内選抜の生徒たちが英語でユーモアあふれる漫才を披露しました。

さまざまな活動を通して、生徒たちは実践的な英語力を高めるとともに、異文化への理解を深め、国際感覚を養う貴重な機会となりました。本校ならではの国際交流を通じて、多くの生徒が世界とつながる楽しさを実感しています。

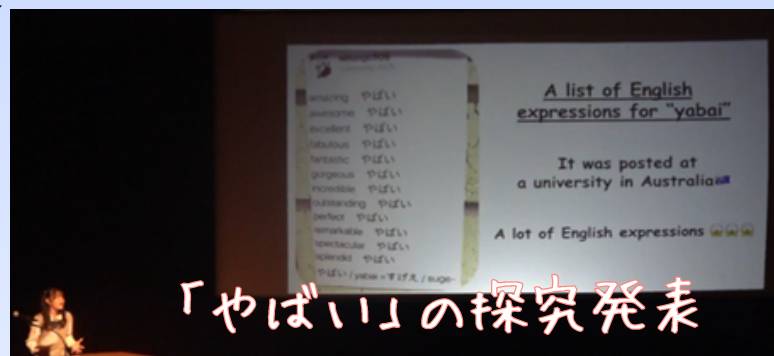
8月26日(水)、仙台市泉区の仙台銀行ホールイズミティ21において、英語科発表会を開催しました。この発表会では、英語科の全学年の生徒が、当日の運営から各種発表まで主体的に担当し、日頃の学習成果を披露しました。

発表内容は、英語によるプレゼンテーション、レシテーション(英語暗唱)、ディベート、スキット(英語劇)など多岐にわたり、生徒たちは緊張しながらも堂々と発表を行いました。

今年度は、アメリカやフィリピンへの留学経験、本校のオーストラリア海外研修で学んだことについての発表に加え、日本語の「やばい」という表現を英語でどのように説明するかなどを探究した研究発表や、英語漫才など、個性あふれる発表が行われました。

また、来賓としてご出席いただいた宮城県教育委員会指導主事の渡邊伸明様からは、生徒たちの高い英語力や表現力に対して温かい講評をいただきました。

発表会を通して、生徒たちは英語で伝える楽しさと難しさを実感するとともに、さらなる英語力向上への意欲を高めることができました。



〈学校のインスタグラムはこちらです〉

